

要望書



矢板駅前・駅周辺の
環境整備について



令和3年3月

要望の要旨

1. 矢板駅西口の景観形成を図り、商店街との連携により、さらなるまちなかの魅力向上、賑わい創出につなげること。
1. 矢板駅東口の土地等を有効活用し、活性化につなげること。

矢板市の中心部に位置し、1日2千人を超える乗降客がある矢板駅及びその周辺は、まちの顔ともいえるべきエリアです。特に西口は、花の季節は花壇が彩りを添え、冬季は、風物詩となったイルミネーションの点灯により、住民協働のまちづくり、まちなか活性化に寄与しています。

しかし一方で、西口では一部施設の老朽化や通勤・通学時間帯のロータリーの混雑、また、東口では遊閑地の存在や雑草の繁茂といった、幾つかの課題を抱えていることも事実です。

そのため、駅前・駅周辺の人・車の流れの円滑化と、居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかの形成、憩い・賑わいを創出する空間の実現に向け、要望するものであります。

令和3年3月18日

矢板市長 齋藤 淳一郎 様

矢板市議会議長 石井 侑男